福祉医療費自己負担額支払明細書　記載例

機関コードは、医療機関番号等を記載
柔整は、登録記号番号「協2901***-*-*」
「契2951***-*-*」の「協29又は契29を除く下7桁を記載」

診療年月を記入

提出先は、社保・国保にかかわらず、奈良県国民健康保険団体連合会

国保、社保別に作成し、保険区分１．２の番号を〇で囲む

保険区分	①国保） ・ ２（社保）

令和６年６月分

福祉医療費自己負担額支払明細書

奈良県国民健康保険団体連合会　殿

医療機関所在地　奈良市登大路町＊＊
名称
開設
電話

自己負担割合を記入
1割は1、2割は2、3割は3

医科は１、歯科は３、調剤は４、柔整は９、訪問看護は６の該当番号を〇で囲む

表別					機関コード
医	①調	4	訪	6	０１０９９９９
歯	3	柔	9		

作成日（送付日）を記載

下記のとおり送付する

令和６年　７月１０日

合計点数は、レセプト等で請求する医療保険適用の総点数を記載する
（柔整・訪問看護は保険適用の総金額）

診療年月の元号は次の区分で表記
平成4　令和5

自己負担支払額は、福祉医療受給者が実際に窓口で支払った保険適用の額の合計額を記載
正　1日目　211点　630円
　　2日目　341点　1020円
　　計　552点　1650円
誤　1660円＝552点×10円×3割

明細書の記載は、順不同

公費負担者番号	受給者番号	保険者番号	氏名	生年月日 年 月 日	入院区分 入	外	割合	実日数	合計点数	自己負担支払額	長	診療年月 年	月	
81290024	4051249	2900023			1	②3		1	186	560	長			
91290585	6759674	2905855			1	②3		2	552	1,650	長			
71290761	6850010	2907667			1	②2		10			長			
71290548	7237621	2930277	春日花子		1	②2					長	5	0	1 0 5
81290677	8003204	2906776							33,648	100,940	長	4	2	9 0 3
71290548	7237622	2930277							3,025	6,680	長			スポーツ共済
91290106	9085077	2901066							1,992	1,000	長			10
71290081	6847289	1330333	若草太郎		1	②3		2	533	1,600	長			
81290589	4052098	2905855			①1	2	3	14	94,552	35,400	長			
81290710	6948731	2907188			1	②3		12	43,595	10,000	㊢			
29					1	2					長			
29					1						長			
29					1						長			
						合計（99）			208,388	218,440				

生年月日の元号は次の区分で表記
明治1　大正2
昭和3　平成4
令和5

入外区分は入院は１、外来は２を〇で囲む

診療年月は、当月分は記載しなくてよいが月遅れの場合は記載

保険者番号が８桁未満の場合は右詰

スポーツ共済の給付申請にかかる「医療等の状況」等に記入した場合は、福祉医療の対象外となる為「医療等の状況」等に記入した診療報酬点数を控除した自己負担額を記載。備考には、「スポーツ共済」と記載

その他の国公費制度と併用の場合は、法別番号を記載

10結核等、その他の国公費制度と併用の場合は、国制度に定める自己負担額の支払いを受け、その額を記入（国公費制度優先）

1桁の場合は0を記載
平成14年3月6日生まれの場合
→4140306

限度額適用認定証利用の場合
限度額適用認定証に記載の適用区分適用後の額

慢性腎不全等の長期高額疾病の負担軽減（マル長）の利用の場合は「長」に〇印

合計は、明細書1枚ごとに合計点数、自己負担支払額を集計して記載

①この明細書は奈良県国民健康保険団体連合会に提出する。
②この明細書は国保・社保別に作成するものとし、右上欄の該当番号を〇で囲む。
③表別欄医科は１、歯科は３、調剤は４、柔整は９、訪問看護は６の該当番号を〇で囲む。
④請求書が２枚以上にわたる場合はNoを記入し、２枚目以降も捺印する。
⑤入外区分欄は入院は１、入院外は２を〇で囲む。
⑥「生年月日」欄は、元号を次の区分で表記してはじめる。（明治:1,大正:2,昭和:3,平成:4,令和:5）

⑦割合欄は、受給者自己負担割合の１，２，３を記入する。
⑧合計点数は、レセプトで請求する医療保険適用の総点数を記入する。
⑨自己負担支払額欄は、福祉医療受給者が窓口で支払った額を記入する。
⑩㊢ 欄は、長期高額疾病患者の高額療養該当者は、長を〇で囲む。
⑪診療年月欄は取扱月分のときは記入しなくてよいが、月遅れのときは記入する。
　その場合、元号を次の区分で表記してはじめる。（平成:4,令和:5）
⑫合計欄は、請求書１枚ごとに合計点数、自己負担支払額を集計して記入する。

（頁/総枚数）
1／1

国保、社保別に計上する
（例）国保1枚
社保2枚の場合
国保：1/1
社保：1/2　2/2